## 天秤 (6th Album)

# 全作詞 / 作曲オーノキョフミ Copyright © オーノキョフミ All Rights Reserved.

## オニグモ

語ることもなくなって 言葉がうまく口から出なくても 信じていたものが壊れても それはそれで次への扉さ

いまここの 何気ない日々は かけがえの無いもののパズル 行き先がわからなくなっても 戻って来れるような そんな場所

灰色の空が続いて 隠れてる太陽が見たくて ただ身を守っているだけのオニグモに 必要以上におびえてる僕らさ

いまここの 何気ない日々は かけがえの無いもののパズル 行き先がわからなくなっても 戻って来れるような そんな場所

いまここの 何気ない日々は かけがえの無いもののパズル 何回も何回も 戻って来れるような そんな場所

オニグモ オニグモ オニグモ オニグモ

流されて 時には逃げ帰り それでももがいて前に進む 行き先がわからなくなっても 戻って来れるような そんな場所

いまここの 何気ない日々は かけがえの無いもののパズル 何回も 何回も 戻って来れるような そんな場所 何回も 何回も 戻って来れるような そんな場所

オニグモ オニグモ オニグモ

遠回りしていたら 伝えられなくなってた このまま影になっても ゴミの山から救い出して

ただ それは幻だった 目が覚めてない僕のままで 届かないはずのあの塀の先へ ただただ向かってった

誰もが疲れてた 午後に僕はやる気でた 最後のことばかり僕はいまさら 思い出した

ただそれは幻だった 思いがけない 恐怖がまた わからない明日と その先の光も そのまま つつみこんだ

大好きな 物が多すぎて それらを消したくなくて いつの間に 怖がっていたよ 守るものなんてない

遠回りしていたら 何をするか見えてきた 誰かが叫んでる 僕もそろそろ ここを出よう

ただ それは幻だった 目が覚めてない僕のままで届かないはずのあの塀の先へ ただただ向かってった

#### おやすみマイライフ

ステキで 長いパーティーの後 うらやむような目で見てるんだ あからさまだったかな

どれほど 事が最悪かは 知らないけれども今は あかりをともすんだ きっと 君は言う

あっそうか… オーバーな考えは嘘じゃない 感銘を受けたら ブレインも変化する。 優しさや しがらみが あれほどとは…

簡単に明日のことなんて 予想ができない わかってる うんと長いことも

結局は厚いカーテンでしまう 自分の力を知ってる? そんなもんじゃないかもね 何をバカにする

あっそうか… 自我を捨てれば嘘になる 変動を望んで葛藤をチャラにする。 見上げたら 空気だけ 浮いていた

邪魔はない(余計な)少しだけ(粒は)信じてみる(本当は)

今に 君は言う

あっそうか… オーバーな考えは嘘じゃない 感銘を受けたら ブレインも変化する。 優しさや しがらみが あれほどとは…

邪魔はない(余計な)少しだけ(粒は)信じてみる(本当は)

## 環七の夜

手のひらでつかむグリップ 風は良好 軽いペダル 天気予報は少しあやしくても 飛び出した金曜日

僕がいなくても誰かが気づくことなんて無さそうだし どこまで 行けるか ためして みたくなった

環七の夜に僕は消える 車のライトに追い越されて 血がたぎる 言えなかった思いがあふれてとまらない

昨日の間違いも気にしない

環七の夜に君は消える 離れないメロディーが頭から ここまで 見えなかった 真実のしっぽがいたんだよ

昨日の間違いも気にしない 過ぎてく光も追わない

## 月夜のサバイバルツアー

風の吹かない 月夜の砂漠で ほら! 迷子になりそう 気を抜けば すぐ方向見失う ほら! 計算違いの人生だって待ってる 目の前に

僕は今知らない道を歩いてる ここはどこ? 食べ物はバナナー本あればへっちゃら 君に手紙書くよ

今日も元気です なんとかやってます 空もブルー この世界に 君が来たら 特等席を用意しよう

鼻歌が何かのメロディーに似てる ここはどこ? 月がまた 君の居場所をね ばらしている 君を探してたよ

どこにいても なんとかやってます 空もブルー この世界に 君が来たら 特等席を用意しよう

そう 今日も元気です なんとかやってます 空もブルー

この世界に 君が来たら 特等席を用意しよう

何がおきても なんとかやってます 空もブルー この世界に 君が来たら 特等席を用意しよう

# Ramen Town

#### 織紙

子供のころから見てた 夢みたいに おぼろげな そんなものに私は守られ そんなものに私は傷つき

世界の色が変わって 見るべき道が見えたって そんなふうに 思っていたけど それがすべてなんかじゃなかった

手探りで追いかけたけれど すり抜けてゆく砂のような花 私が届けたかったものは どこへ閉じ込めてしまったのだろう

優しくて もどかしくて もっと 素直な悲しみを歌に

未完成な 私のままで もっと 紡ぐ声を もっと

近くにいても遠く感じ 限りがないような 長い長い道 あなたが足りないと思ったものは すでにそこらに転がってる

形には残らなくても きっと あなたが来た道は ずっと

残っている いびつなままで きっと いいよ

優しくて もどかしくて もっと 素直な悲しみを歌に

未完成な 私のままで もっと 紡ぐ声を もっと

## 太陽のリズム

語りあった 昨日の日を にじむ夕日に溶かしながら歩こう

ここはとても開けた場所だから 鍵をかけたその目を開いてよ

気付いてたのさ

僕らの心は複雑で綺麗なもんじゃない それでも僕らが描くのは綺麗な世界さ そこにあるのはもっと これからずっと 続いてく 太陽のリズム

やまない雨などここには無いと知って 足りないものだけ追い求めはしないで

僕らを愛することなんて出来なくても 僕らが作った数々を 愛しておくれ

僕らの心は複雑で綺麗なもんじゃない それでも僕らが描くのは綺麗な世界さ

そこにあるのはもっと これからずっと 続いてく 太陽のリズム

やまない雨などここには無いと知って 足りないものだけ追い求めはしないで

## 千川ストリート

千川通りに桜が咲く頃 この街にやってきた 道行く誰もが 自分の夢だけを 追ってるように見えた

足りない力は勢いでごまかして なんとかしのいでた 高すぎるビルの隙間から のぞいている空が愛しかった

ここは何もかも 変わっていくけれど 時の隙間から 変わらぬものを見た

出来ること 出来ないこと 見ているだけのこと いろいろと あるけれど 君に合うのは何?

出会うたび 別れるたび 胸が動くけれど そこにある 君自身は 動かずここにある

ここは何もかも 変わっていくけれど 時の隙間から 変わらぬものを見た 誰も 誰もかれも すれ違い過ごす中 顔を覚え合ったのは 何かの縁だった

#### Awesome

ばらまかれた荷物の中に 君がつくった夢がある 歩んできた時間は 他のものには決して変えられない

Awesome この瞬間に 出会いが生まれる History 光る道筋 あの場所にはみんながいる

僕の 心どこかに 行っても 必ず戻れる場所が あったよ ありがとう ありがとう 君と歩んだ道は決して忘れはしないよ そう

ダーツが的に 向かうように 僕らの道は まっすぐに伸びているんだ

Awesome 狙いは OK ボードがまた輝く Victory 唸るポイント 世界がいまつながってる

僕の 心どこかに 行っても 必ず戻れる場所が あったよ ありがとう ありがとう 君と歩んだ道は決して忘れはしないよ そう

ダーツが的に 向かうように 僕らの道は まっすぐに伸びているんだ

夢が現実に 変わるように おもしろい明日が まっすぐに伸びているから そう また行こう

# バレエダンサー

手の平からすっと こぼれ落ちた 描いてた彼らの未来のかけら 交わることなんて なかったように この街のどこかで消えてくのさ 消えてくのさ

久しぶり ああ僕のことを 覚えてたのかい 変わらないなんてことあるかい 僕はそう、変わった 変わった

バレエを踊る 君は淡々と 何も なかった ように

ああ まだ 僕に 微笑みかけるよ 幻のように

届かないことだってあるよ 僕はそう、変わった 変わった バレエを踊る 君は淡々と 何も なかった ように ああ まだ 僕に 微笑みかけるよ 幻のように

あのころのように できなくたっていい ああ

## 地図

たいしたものなど ここにはないのさ 僕のかいた絵を 地中に埋めて

冒険者がかいた地図 ボンクラな世界地図 目を通した時から 夢がつまる

僕らの思い このままだと消えてしまう 届かない言葉 君を好きと言えなかった

たいしたものなど ここにはないのさ 僕がはいた言葉 地中に埋めて

感情的でそのまま ながめてた世界地図 見落としてしまったら 時が嘆く

僕らの思い このままだと消えてしまう 離れない言葉 胸の中で震えている

冒険者がかいた地図 ボンクラな世界地図 目を通した時から 夢がつまる

僕らの思い このままだと消えてしまう 届かない言葉 君を好きと言えなかった 君を好きと言えなかった

# 路地裏の li li

浮き沈みが多いこの日々で いつでも笑顔を絶やさずにいられる君が 流した涙が 胸を叩く

oh my baby その手のひら oh my baby それは最後につなぐべき手

これから訪れる 君と僕の旅路 ともに進もう 知らない場所でも きっとうまく歩ける 薄暗い路地裏でも

li li

oh my baby さみしくても oh my baby それは君に描いたメロディー

これから訪れる 君と僕の旅路 ともに進もう 知らない場所でも きっとうまく歩ける

ただ君と僕の笑顔を 守ればいい この先 痛すぎる 悲しみがあっても きっとうまく歩ける

薄暗い路地裏でも

li li